

【1】経営体の概要

すべての方が記入する項目です。

1 経営形態

経営形態について、該当するもの**1つに必ず記入**してください。

法人でない	法人である								地方公共団体・財産区			
	個人経営（世帯）	任意団体	農事組合法人	株式会社	合名・合資会社	合同会社	相互会社	各種団体		農協	森林組合	その他の各種団体
101	<input checked="" type="checkbox"/>											

○ 特例有限会社は株式会社に該当します。

○ 法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。

○ **個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。**

法人番号（13桁）

102																			
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

次ページ【2】経営主へ

2 世帯の状況（個人経営の方のみ）

(1) 世帯としての所得は、**自営農業と自営農業以外の仕事**でどちらが多いですか。該当するものに**必ず記入**してください。

103	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自営農業による所得が多い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自営農業以外の所得が多い (不動産による所得は含み、年金は含まない。)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

○ 林業による所得が多い方は、「自営農業以外の所得が多い」に記入してください。

(2) すべての世帯員の人数を記入してください。（農業又は林業に従事していない人も含みます。）

年齢	人数	男 (人)		女 (人)	
		人数	人数	人数	人数
14歳以下 (H22.2生以降)	107			108	
15～19歳 (H17.2～H22.1生)	109			110	
20～24歳 (H12.2～H17.1生)	111			112	
25～29歳 (H7.2～H12.1生)	113			114	
30～34歳 (H2.2～H7.1生)	115			116	
35～39歳 (S60.2～H2.1生)	117			118	
40～44歳 (S55.2～S60.1生)	119			120	
45～49歳 (S50.2～S55.1生)	121			122	
50～54歳 (S45.2～S50.1生)	123			124	
55～59歳 (S40.2～S45.1生)	125			126	
60～64歳 (S35.2～S40.1生)	127			128	
65～69歳 (S30.2～S35.1生)	129			130	
70～74歳 (S25.2～S30.1生)	131			132	
75～79歳 (S20.2～S25.1生)	133			134	
80歳以上 (S20.1生以前)	135			136	

【2】経営主 すべての方が記入する項目です。

1 経営主の性別と出生年月を記入してください。

141	142	143	144
性別	出生の年月		
男 女	大正 昭和 平成	年	月
✓	✓	✓	✓

2 当該経営は「自ら開始した」と「経営を引き継いだ」のどちらですか。また、開始または引き継いで経営主となってからの年数は何年ですか。
それぞれ該当するもの**1つに必ず記入**してください。

145	146
自ら開始した	1年未満
経営を引き継いだ	1～4年
	5～9年
	10年以上

○「自ら開始した」とは、新規参入や独立をいい、法人化などの組織形態の変更は含みません。

3 過去1年間に経営主が農作業及び林業作業に従事した日数（管理労働を含む。）について、それぞれ該当するもの**1つに必ず記入**してください。

		1日	30日	60日	100日	150日	200日	250日以上	従事していない
両方記入	農作業に従事した日数	147	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	林業作業に従事した日数	148	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

○ 従事した日数には、経理事務などの管理労働も含まれます。
○ 従事した日数は、1日を8時間として計算してください。
(例) 1日4時間ずつ → 2日で1日分
毎日1時間ずつ → 8日で1日分

4 過去1年間の経営主の主な状況について、該当するもの**1つに必ず記入**してください。

個人経営の方が記入する項目です。		149	個人経営以外の方が記入する項目です。		150
し仕事をした主に	主に自営農業を行った※	✓	主に農業に従事	✓	
	主に自営林業を行った※	✓	主に林業に従事	✓	
	主に農業・林業以外の自営業を行った	✓	主に農業・林業以外の事業に従事	✓	
	主に他に勤務した※	✓			
主に学生（研修を含む。）であった		✓			
主に家事・育児 その他であった		✓			

※個人経営の場合、他に雇われて主に農業（林業）を行った場合は、「主に他に勤務した」に記入してください。

5 農業経営及び林業経営を引き継ぐ後継者（予定を含む。）を確保していますか。また、**5年以内**に後継者に引き継ぐ意向はありますか（後継者の確保の有無に関わらず意向を記入してください）。

なお、農業又は林業のいずれかを経営していない場合は、「経営していない」のみに記入してください。

		151	152
		農業	林業
1つに必ず	確保している	✓	✓
	親族以外の経営内部の人材	✓	✓
	経営外部の人材	✓	✓
	確保していない（できていない）	✓	✓
必ず1つに	5年以内に後継者に引き継ぐ意向がある	✓	✓
	5年以内に後継者に引き継ぐ意向がない	✓	✓
	経営していない	✓	✓

○「親族」とは、経営主の3親等内の親族をいいます。（同居か別居か、また、現に経営に参画しているかは問いません。）
○「親族以外の経営内部の人材」とは、親族以外で当該経営の役員・構成員及び雇用者をいいます。
○「経営外部の人材」とは、上記以外の方をいいます。

4 常雇いの詳細

4 ページ「1 農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「常雇い(205 及び 206)」に人数を記載した過去1年間に農作業のために常雇いした人（あらかじめ**7か月以上の契約で雇った人**）について、男女・年齢別に実人数を記入してください。

	男 (人)			女 (人)				男 (人)			女 (人)		
	(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)		(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)
15～19 歳 (H17.2～H22.1 生)	233			234			50～54 歳 (S45.2～S50.1 生)	247			248		
20～24 歳 (H12.2～H17.1 生)	235			236			55～59 歳 (S40.2～S45.1 生)	249			250		
25～29 歳 (H7.2～H12.1 生)	237			238			60～64 歳 (S35.2～S40.1 生)	251			252		
30～34 歳 (H2.2～H7.1 生)	239			240			65～69 歳 (S30.2～S35.1 生)	253			254		
35～39 歳 (S60.2～H2.1 生)	241			242			70～74 歳 (S25.2～S30.1 生)	255			256		
40～44 歳 (S55.2～S60.1 生)	243			244			75～79 歳 (S20.2～S25.1 生)	257			258		
45～49 歳 (S50.2～S55.1 生)	245			246			80 歳以上 (S20.1 生以前)	259			260		

5 雇用労働力の従事日数の合計

4 ページ「1 農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」で回答した雇用労働力の「常雇い(205 及び 206)」「臨時雇い(208 及び 209)」のそれぞれについて、従事日数の合計を記入してください。

	男 (人日)			女 (人日)		
常雇いの方の従事日数の合計	262			263		
臨時雇いの方の従事日数の合計	264			266		

【4】土地

農業を行っている方が記入する項目です。

耕地（田・畑・樹園地）

1 土地の状況を記入してください（土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。また、居住地以外の市区町村にある土地も含まれます。）

	田			畑			樹園地		
	(ha)	(a)	(町)(反)(畝)	(ha)	(a)	(町)(反)(畝)	(ha)	(a)	(町)(反)(畝)
経営している	271			275			279		
うち、所有している	272			276			280		
うち、借りている	273			277			281		
貸している	274			278			282		
経営している畑のうち、牧草専用地				283					

実質的に経営を任せている場合は「貸している」に記入してください。

原野化し、現状が耕地でないものは除きます。

耕地以外（山林・原野など）

2 山林・原野などの耕地以外の土地で過去1年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。

	(ha)	(a)	(町)	(反)	(畝)
耕地以外で利用した土地面積	284				

ハウス・ガラス室等

3 過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室及び加温温室の**実面積**を、**m²**単位で記入してください。

	(a)	(m ²)		
	(町)	(反)	(畝)	
ハウス・ガラス室	285			
そのうち、加温温室	286			

○ ハウス・ガラス室とは、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。

○ 水稻の育苗だけ、きのこの栽培だけに利用したものは除きます。

【5】農業生産

農業を行っている方が記入する項目です。

始めから販売を目的とせず、自給用に作付け（栽培）した面積は含めないでください。

稲 麦 雑穀 いも類 豆類 工芸農作物

- 1 過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した、稲、麦・雑穀・いも類・豆類・工芸農作物の品目のコード及び延べ面積を田畑別に記入してください。

品目コード		田		畑			
品目コード	291	(ha)	(a)	(ha)	(a)		
		(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							

品目コード	露地作延べ面積		施設作延べ面積		
	(ha)	(a)	(ha)	(a)	(㎡)
	(町)	(反)	(町)	(反)	(畝)
花き	295		296		
花木	298		299		

切り花類	球根類	鉢ものの類	花壇用苗ものの類
300	301	302	303
✓	✓	✓	✓

※1 未成熟の豆類(「えだまめ」、「さやいんげん」、「さやえんどう」、「グリーンピース」など)は「その他の豆類:503」に含めず、次のページの3の「その他の野菜:191」に記入してください。

※2 「その他の工芸農作物」には、たばこ、いぐさ、ホップ、ごま、ラベンダー、薬用作物などの合計を記入してください。

花き・花木

- 2 過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した花き・花木の延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。花き苗、花木苗を含みます。

花きの露地、施設面積がある方は、該当する品目すべてに記入してください。

野菜 **果樹**

3 過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した野菜・果樹類の品目のコード及び延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。

品目コード		露地作延べ面積		施設作延べ面積		
		(ha)	(a)	(ha)	(a)	(㎡)
		(町)	(反)	(町)	(反)	(畝)
304		305		306		
①						
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

野菜		果樹	
根菜類	だいこん : 101	温州みかん	: 201
	にんじん : 102	その他のかんきつ	: 202
	さといも : 103		
	やまのいも (ながいもなど) : 104	りんご	: 203
		ぶどう	: 204
葉茎菜類	はくさい : 111	日本なし	: 205
	キャバツ : 112	西洋なし	: 206
	ほうれんそう : 113	もも	: 207
	レタス : 114	おうとう (さくらんぼ)	: 208
	ねぎ : 115	びわ	: 209
	たまねぎ : 116	かき	: 210
	ブロッコリー : 117	くり	: 211
果菜類	きゅうり : 121	うめ	: 212
	なす : 122	すもも	: 213
	トマト : 123	キウイフルーツ	: 214
	ピーマン : 124	パインアップル	: 215
果実的野菜	いちご : 131	その他の果樹	: 216
	メロン : 132		
	すいか : 133		
その他の野菜	: 100		

※1 「その他の野菜」には、「もやし」、「えだまめ」、「スイートコーン」、「ごぼう」、「にら」、「かぼちゃ」、「アスパラガス」など該当しなかった野菜の合計を記入してください。

※2 「その他の果樹」には、「ブルーベリー」、「イチジク」、「ギンナン(イチヨウ)」、「マンゴー」、「オリーブ」など該当しなかった果樹の合計を記入してください。

○ 果樹類の面積には、未成園を含みます。

その他の作物

4 過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）したその他の作物（1～3に該当しなかった作物）の延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。

		露地作延べ面積		施設作延べ面積		
		(ha)	(a)	(ha)	(a)	(㎡)
		(町)	(反)	(町)	(反)	(畝)
その他の作物	308			309		

○ 販売を目的として栽培した水稻苗、野菜苗、果樹苗、造林用の苗木、芝、稲以外の飼料用作物、青刈り作物など、どの欄にも該当しなかった作物の合計を記入してください。

家畜

5 現在、飼っている牛の頭数を目的別に記入してください。

		(頭)				
		万	千	百	十	一
総数		310				
搾乳目的	2歳(24か月齢)以上	311				
	2歳(24か月齢)未満	312				
販売目的	肉用種 の 牛などの 肉用種	子取り用めす牛	313			
		肥育中の牛 (肉用として販売)	314			
		売る予定の子牛など (種おすを含む。)	315			
	乳用種と 交雑種	肥育中の牛 (肉用として販売)	316			
		売る予定の子牛 (肥育用もと牛として販売)	317			
	飼肉用と 乳用種 の 交雑種	肥育中の牛 (肉用として販売)	318			
売る予定の子牛 (肥育用もと牛として販売)		319				

○ 搾乳する予定のない子牛は、「売る予定の子牛(など) (315、317、319)」に種類ごとに記入してください。

6 現在、販売する予定で飼っている豚の頭数を記入してください。

		(頭)				
		万	千	百	十	一
子取り用めす豚	321					
肥育中の豚	322					

7 現在、卵の販売を目的として飼っている採卵鶏の羽数を記入してください(ひなどりを含みます。)

		(羽)						
		百万	十万	万	千	百	十	一
採卵鶏	323							

8 過去1年間に出荷したブロイラーの羽数を記入してください。

		(羽)						
		百万	十万	万	千	百	十	一
ブロイラー	324							

きのこ栽培・その他の農業

9 【5】の1から8以外で、販売を目的として、きのこの栽培やその他の農業経営を行っていますか。該当するものすべてに記入してください。

	きのこ栽培	馬の飼養	羊の飼養	やぎの飼養	地鶏の飼養	養蜂	養蚕	その他の農業経営
325	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

「その他の農業経営」を行っている場合は代表的な品目を記入してください。

326

○ 「その他の農業経営」は、7ページから本ページまでの内容以外のものがある場合に回答ください。

【6】過去1年間の農産物の販売

農業を行っている方が記入する項目です。

1 過去1年間の農産物の販売金額（売上高）について、該当するもの**1つに必ず記入**してください。

販売なし	331	<input checked="" type="checkbox"/>
農産物の販売あり		
50万円未満		<input checked="" type="checkbox"/>
50万～100万円未満		<input checked="" type="checkbox"/>
100万～300万円未満		<input checked="" type="checkbox"/>
300万～500万円未満		<input checked="" type="checkbox"/>
500万～1,000万円未満		<input checked="" type="checkbox"/>
1,000万～3,000万円未満		<input checked="" type="checkbox"/>
3,000万～5,000万円未満		<input checked="" type="checkbox"/>
5,000万～1億円未満		<input checked="" type="checkbox"/>
1億円以上		<input checked="" type="checkbox"/>

販売金額には、売上金額を記入してください（肥料代、農薬代などの経費を引かない。）。

2 過去1年間の販売金額が上位3位までの部門について、該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

	部門コード	割合(割)
1位部門	333	334
2位部門	335	336
3位部門	337	338

部門コード

水稲・陸稲	: 01	酪農	: 10
麦類	: 02	肉用牛	: 11
雑穀・いも類・豆類	: 03	養豚	: 12
工芸農作物	: 04	養鶏	: 13
露地野菜	: 05	養蚕	: 14
施設野菜	: 06	その他の畜産	: 15
果樹類	: 07		
花き・花木	: 08		
その他の作物	: 09		

「1億円以上」の場合は、1億円単位で金額を記入してください。

3 過去1年間に農産物を販売した**すべての出荷先**を記入し、さらに売上1位の出荷先を記入してください。

	農協へ	集出荷団体の農協へ	卸売市場へ	小売業者へ	外食産業へ	食品製造業へ	消費者に直接販売	その他へ		
	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348
出荷先	<input checked="" type="checkbox"/>									
第1位の出荷先	349	<input checked="" type="checkbox"/>								

○「消費者に直接販売へ」には、自ら生産した農産物またはそれを使用した加工品を消費者に販売しているものが該当します。

○「その他の農産物直売所へ」には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

4 過去1年間に生産した**農産物を輸出している場合は該当するものすべてに記入**してください。また、輸出した農産物の販売金額又は数量を把握している場合は、上記1に記入した農産物の**販売金額に占める輸出向けの割合を記入**してください。なお、輸出していない場合は、「輸出していない」のみに記入してください。

	金額を把握している	350	<input checked="" type="checkbox"/>	販売金額全体に占める輸出向けの割合	354	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
輸出している	金額は把握していないが数量を把握している	351	<input checked="" type="checkbox"/>	販売金額全体に占める輸出向けの割合（※数量換算）	355	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
	金額と数量のどちらも把握していない	352	<input checked="" type="checkbox"/>					
	輸出していない	353	<input checked="" type="checkbox"/>					

※金額は把握していないが数量を把握している場合、すべての販売数量に占める輸出向けの数量の割合から輸出向けの金額の割合に換算して記入してください。

輸出しているには、以下のような場合が該当します。

①自ら生産した農産物を、海外の卸売業者、レストラン、スーパーなどの小売業者や消費者等に直接出荷（輸出）した場合

②自ら生産した農産物を、輸出を目的として農業協同組合、貿易商社、卸売事業者等に出荷した場合

※輸出を目的としては出荷していなかったが、出荷先において輸出されたことを確認している場合も含む。

【7】過去1年間の農作業の受託（請負）

農業を行っている方が記入する項目です。

1 過去1年間の農作業の受託（請負）による料金収入について、該当するもの**1つに必ず記入**してください。

2 過去1年間によそから受託した（請け負った）農作業**すべてに記入**してください。

受託料金収入なし		361	✓	12 ページ 【8】農業生産関連事業へ	水稲作	363	✓	12 ページ 【8】農業生産関連事業へ
農作業の受託料金収入あり	50万円未満		✓		麦作	364	✓	
	50万～100万円未満		✓		大豆作	365	✓	
	100万～300万円未満		✓		野菜作	366	✓	
	300万～500万円未満		✓		果樹作	367	✓	
	500万～1,000万円未満		✓		飼料用作作物	368	✓	
	1,000万～3,000万円未満		✓		さとうきび作	369	✓	
	3,000万～5,000万円未満		✓		工芸用作作物 (さとうきび作を除く。)	370	✓	
	5,000万～1億円未満		✓		その他の作物作	371	✓	
	1億円以上		✓		畜産	372	✓	
畜産ヘルパー			✓	酪農ヘルパー	373	✓		

該当するすべてに

下記3へ

1億円以上の場合、1億円単位で金額を記入してください。(億円)

362				
-----	--	--	--	--

○ 受託料金収入は、農作業とともに、実質的に「経営自体」を引き受けている場合は含めないでください。また、その場合は、6ページ【4】土地の1の「うち、借りている」に含めて記入します。

3 水稲作作業で、過去1年間に、よそから受託した（請け負った）作業の**実面積**について、作業ごとに受託した面積と、一括して受託した面積に分けて記入してください。

作業ごとに受託	作業コード	金額	(ha)		(a)	
			(町)	(反)	(畝)	(畝)
育苗	374					
耕起・代かき	375					
田植	376					
防除	377					
稲刈り・脱穀	378					
乾燥・調製	379					
すべての水稲作作業を一括して受託	380					

【8】農業生産関連事業

農業を行っている方が記入する項目です。

農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。

例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、貸農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン、再生可能エネルギー発電などが該当します。

- 1 過去1年間の農業生産関連事業の売上金額の合計について、該当するもの1つに必ず記入し、売上金額がある方は、行っている事業すべてに合計に占める割合を記入してください。

		391			割合 (割)	
農業生産関連事業の売上あり	100万円未満	✓	}	農産物の加工	392	
	100万～500万円未満	✓		小売業	393	
	500万～1,000万円未満	✓		観光農園	394	
	1,000万～5,000万円未満	✓		貸農園・体験農園など	395	
	5,000万～1億円未満	✓		農家民宿	396	
	1億～10億円未満	✓		農家レストラン	397	
	10億円以上	✓		再生可能エネルギー発電	398	
	売上なし	✓		その他	399	

「その他」の売上がある場合は、具体的な事業を記入してください。

- 2 過去1年間に農業生産関連事業で生産した農産物加工品等を輸出している場合は該当するものすべてに記入してください。また、輸出した農産物加工品等の売上金額又は数量を把握している場合は、上記1に記入した農業生産関連事業の売上金額に占める輸出向けの割合を記入してください。なお、輸出していない場合は、「輸出していない」のみ記入してください。

		401			百	十	一
輸出している	金額を把握している	✓	}	売上金額全体に占める輸出向けの割合	405		%
	金額は把握していないが数量を把握している	✓		売上金額全体に占める輸出向けの割合（※数量換算）	406		%
	金額と数量のどちらも把握していない	✓		※金額は把握していないが数量を把握している場合、すべての売上数量に占める輸出向けの数量の割合から輸出向けの金額の割合に換算して記入してください。			
輸出していない		404					

輸出しているには、以下のような場合が該当します。

- ①自ら経営している農業生産関連事業で生産した農産物加工品などを、海外の卸売業者、レストラン、スーパーなどの小売業者や消費者等に直接出荷（輸出）した場合
- ②自ら経営している農業生産関連事業で生産した農産物加工品などを、輸出を目的として農業協同組合、貿易商社、卸売業者等に出荷した場合
※輸出を目的としては出荷しなかったが、出荷先において輸出されたことを確認している場合も含む。

- 3 過去1年間に農業生産関連事業（管理労働を含む。）へ従事した人（経営主を含む。）について、実人数を記入してください。また、そのうち農作業（管理労働を含む。）にも従事した人の実人数を記入してください。

		男(人)	女(人)			男(人)	女(人)
経営内部の労働力（経営主、個人経営の世帯員、会社等の役員、任意団体の構成員等）		408	409	うち、 農作業にも 従事 した人	420	421	
雇用労働力	常雇い（農業生産関連事業のために7か月以上の契約で雇った人）	411	412		423	424	
	臨時雇い（日雇、季節雇、手伝い、研修生など）	414	415		426	427	
	そのうち、1か月以上の契約で雇った人	417	418		429	430	

【9】農業経営の特徴的な取組

農業を行っている方が記入する項目です。

1 農業経営について青色申告を行っていますか。該当するもの**1つに必ず記入**してください。

行っている	正規の簿記	441	<input checked="" type="checkbox"/>
	簡易簿記		<input checked="" type="checkbox"/>
	現金主義		<input checked="" type="checkbox"/>
行っていない			<input checked="" type="checkbox"/>

- 「正規の簿記」とは、損益計算書と貸借対照表が導き出せる組織的な簿記の方式（一般的には複式簿記をいいます（青色申告特別控除額：最高 65 万円））。
- 「簡易簿記」とは、「正規の簿記」以外の簡易な帳簿による記帳（青色申告特別控除額：最高 10 万円）をいいます。
- 「現金主義」とは、現金主義による所得計算の特例を受けているものをいいます（青色申告特別控除額：最高 10 万円）。
- 経営を法人化し青色申告を行っている場合は、「正規の簿記」に記入してください。

2 有機農業について記入してください。

(1) 有機農業に取り組んでいますか。

（自給用に作付け（栽培）した場合も含めます。）

取り組んでいる	有機 JAS 認証を受けている	442	<input checked="" type="checkbox"/>
	有機 JAS 認証を受けていない		<input checked="" type="checkbox"/>
取り組んでいない			<input checked="" type="checkbox"/>

「有機農業」とは、化学的に合成された肥料及び農薬の両方を使用しない農業のことで、有機 JAS の認証を受けていない場合でも「有機農業」に該当します。

なお、以下の取組については有機農業に該当しません。

- ・化学的に合成された肥料及び農薬を使用した「減化学肥料栽培」、「減農薬栽培」
- ・化学的に合成された肥料を含む「有機入り化成肥料」や「有機配合肥料」を使用した場合

(2) 有機農業に取り組んでいる場合、有機農業に取り組んでいる耕地の**実面積**を記入してください。

（自給用に作付け（栽培）した面積も含めてください。）

		(ha)		(a)	
		(町)	(反)	(畝)	(反)
有機農業に取り組んでいる耕地の実面積	443				
うち、牧草地の面積	444				

有機農業に取り組んでいる耕地の実面積は、二期作や二毛作もあることから、(3)の品目ごとの作付け(栽培)延べ面積の合計と必ずしも一致しなくても構いません。

(3) 有機農業に取り組んでいる場合、過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した品目ごとの**延べ面積**を記入してください。

		(ha)		(a)	
		(町)	(反)	(畝)	(反)
水稻を作付けた面積	445				
大豆を作付けた面積	446				
茶を栽培した面積	447				
野菜を作付けた延べ面積	448				
果樹を栽培した面積	449				
その他の作物を作付けた延べ面積	450				

始めから販売を目的とせず、自給用に作付け(栽培)した面積は含めないでください。

3 効率的かつ効果的な農業経営を行うためにデータ（気象情報、市況、生産履歴、生育状況などの情報（紙媒体、電子媒体ともに含まれます。)) を活用していますか。その際、どのようにデータを活用していますか。該当するものすべてに記入してください。

	451
気象・市況等のデータを見て農業をしている	✓
農作業履歴等のデータをパソコン等で記録している	✓
機器やセンサーを用いて生育状況等のデータを計測・取得して分析している	✓
データ分析を活用した営農上のサービスやサポートを利用している	✓
上記のいずれも行っていない	✓

- 「気象・市況等のデータを見て農業をしている」とは、新聞、スマートフォン、パソコンなどを用いて気象、市況などのデータを見て、農業経営の参考に活用することをいいます。
- 「農作業履歴等のデータをパソコン等で記録している」とは、スマートフォン、パソコンなどを用いて農作業履歴や経営管理などのデータを記録(農機や機器からの自動入力も含む。)することをいいます。
- 「機器やセンサーを用いて生育状況等のデータを計測・取得して分析している」とは、土壌分析、センサー、ドローンなどを用いてほ場環境や生育状況などのデータを計測・取得し、分析することをいいます。
- 「データ分析を活用した営農上のサービスやサポートを利用している」とは、①営農データや土壌・生育データなどの収集・分析サービスを利用すること、②可変施肥・農薬ピンポイント散布などのデータ分析に基づく営農代行サービスを利用すること、③普及指導員・営農指導員などからデータに基づいた指導(土壌診断に基づく施肥計画など)を受けることなどをいいます。

農業のみを行っている方は 18 ページ

【15】都道府県設定項目へ

【10】山林及び林業作業

林業を行っている方が記入する項目です。

1 山林について面積を記入してください。

		(ha)		(a)	
		(町)	(反)	(畝)	(畝)
所有している山林	501				
そのうち、 貸している山林	502				
借りている山林	503				
保有山林 (501-502+503)	504				

- 「所有している山林」とは、実際に所有している山林をいいます。
- 「そのうち、貸している山林」には、
 - ・自分の土地を他人に分取させている山林
 - ・他人が地上権を設定した山林
 - ・貸借契約によって他人が使用収益している山林を含めます。
 なお、森林経営受委託契約又はこれに類する契約に基づき経営を委託している山林(経営管理権や経営管理実施権が設定された山林を含む。)は、所有者の保有山林に該当しますので、「そのうち、貸している山林」には含めないでください。
- 「借りている山林」には、
 - ・他人の土地に分取している山林
 - ・他人の土地に地上権を設定した山林
 - ・貸借契約によって自分が使用収益している山林を含めます。
- 「保有山林」とは、自らが林業経営に利用できる(使用している。)山林をいいます。

2 保有山林のうち、期間を定めて一連の作業（管理を含む。）を一括して他に任せている山林面積を記入してください。

								(ha)	(a)
								(町)	(反)
任せている山林	505								

○林業経営を委託している面積のことです。
 例えば、森林経営受委託契約等を締結して、委託先が森林経営計画を作成している場合は、契約期間内の施業が1回だけであっても、「任せている山林」に含めます。
 ○他人が地上権等を設定している山林や作業ごとに委託（請け負わせ）している山林の面積は含みません。
 ○委託された林業経営の再委託は、「任せている」には該当しません（この場合は、最初の委託者だけが任せている山林面積を記入します。）。

3 保有山林以外で、期間を定めて一連の作業（管理を含む。）を一括して他から任されている山林面積を記入してください。

								(ha)	(a)
								(町)	(反)
任されている山林	506								

○林業経営を受託している面積のことです。
 例えば、森林経営受委託契約等を締結して、受託者が森林経営計画を作成している場合は、契約期間内の施業が1回だけであっても、「任されている山林」に含めます。
 ○地上権等を設定している山林や作業ごとに受託（請負）している山林の面積は含みません。
 ○委託された林業経営を他に再委託した場合、その面積は含みません（この場合は、再委託先である最終の受託者だけが任されている山林面積を記入します。）。

4 保有山林における過去5年間の林業作業について該当するものすべてに記入し、過去1年間の実作業面積を記入してください（委託した（請け負わせた）作業を含みます。）

	間伐	過去5年間の作業	過去1年間の実作業面積	
			(ha)	(a)
			(町)	(反)
植林		507	508	
下刈りなど		509	510	
間伐	切捨間伐	511	512	
	利用間伐	513	514	
主伐		515	516	

○「下刈りなど」には、枝打ち、つる切り、除伐、倒木起こしなどを含みます。
 ○実作業面積のため、1ha の山林に対して、下刈りを2度行った場合でも1ha と記入してください。
 ○「間伐及び主伐」には、立木で販売したものは含みません。

5 保有山林において、過去1年間に立木販売した実面積を記入してください。

								(ha)	(a)
								(町)	(反)
立木販売した面積	517								
そのうち、主伐	518								

○ まだ伐採されていないものも含め、過去1年間に立木で販売する契約をした面積を記入してください。

【11】 素材生産 林業を行っている方が記入する項目です。

素材生産には間伐のうち素材として利用したものも含みます。

1 保有山林において、自ら伐採した過去1年間の素材生産量を記入してください。

								(m ³)
								万 千 百 十 一
素材生産量	521							

2 受託（請負）もしくは立木買いによる過去1年間の素材生産量を記入してください。

								(m ³)
								万 千 百 十 一
素材生産量	522							
うち、立木買いによるもの	523							

【12】 林業の労働力（経営主を除く。） 林業を行っている方が記入する項目です。

1 林業作業（管理労働を含む。）に従事した人数

過去1年間に林業作業に従事した人（経営主を除く。）の実人数を記入し、常雇い又は臨時雇いした人のうち、150日以上林業労働に従事した人の実人数を記入してください。

※「経営内部の労働力」とは個人経営の場合は満15歳以上の世帯員、会社等法人の場合は役員、山林の共同保有者等を指します。ただし、役員会に出席するだけの者や1日も従事しなかった者は含めません。

		男 (人)		女 (人)	
経営内部の労働力（経営主を除く。）		532		533	
雇用労働力	常雇い （林業作業のために7か月以上の契約で雇った人）	535		536	
	臨時雇い （日雇、季節雇、手伝い、研修生など）	538		539	
	そのうち、1か月以上の契約で雇った人	541		542	
				(人)	
常雇い又は臨時雇いのうち、 150日以上林業労働に従事した人		543			

2 経営内部の労働力の詳細

上記「1 林業作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力（532及び533）」に記載した個人経営の世帯員、会社等の役員（代理を委任された者を含む）、山林の共同保有者について、男女・従事日数別に実人数を記入してください。

		男 (人)		女 (人)	
1～29日	547		548		
30～59日	549		550		
60～99日	551		552		
100～149日	553		554		
150～199日	555		556		
200～249日	557		558		
250日以上	559		560		

○ 従事した日数には、経理事務などの管理労働も含まれます。
 ○ 従事した日数は、1日を8時間として計算してください。
 (例) 1日4時間ずつ → 2日で1日分
 毎日1時間ずつ → 8日で1日分

3 常雇いの詳細

上記「1 林業作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「常雇い（535及び536）」に記載した過去1年間に林業作業のために常雇いした人（あらかじめ7か月以上の契約で雇った人）について、男女・年齢別に人数を記入してください。

		男 (人)		女 (人)	
15～19歳 (H17.2～H22.1生)	564		565		
20～24歳 (H12.2～H17.1生)	566		567		
25～29歳 (H7.2～H12.1生)	568		569		
30～34歳 (H2.2～H7.1生)	570		571		
35～39歳 (S60.2～H2.1生)	572		573		
40～44歳 (S55.2～S60.1生)	574		575		
45～49歳 (S50.2～S55.1生)	576		577		
50～54歳 (S45.2～S50.1生)	578		579		
55～59歳 (S40.2～S45.1生)	580		581		
60～64歳 (S35.2～S40.1生)	582		583		
65～69歳 (S30.2～S35.1生)	584		585		
70～74歳 (S25.2～S30.1生)	586		587		
75～79歳 (S20.2～S25.1生)	588		589		
80歳以上 (S20.1生以前)	590		591		

【13】過去1年間の林産物の販売

林業を行っている方が記入する項目です。

- 過去1年間の林産物の販売金額（売上高）について、該当するもの**1つに必ず記入**してください。
- 過去1年間の林産物の販売金額の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

		592
販売なし	✓	
林産物の販売あり	50万円未満	✓
	50万～100万円未満	✓
	100万～300万円未満	✓
	300万～500万円未満	✓
	500万～1,000万円未満	✓
	1,000万～3,000万円未満	✓
	3,000万～5,000万円未満	✓
	5,000万～1億円未満	✓
1億円以上	✓	

		594	割合(割)
用材	立木で販売	594	
	素材で販売	595	
	ほだ木用原木を販売	596	
	特用林産物を販売	597	
	その他	598	

○ 林産物の販売金額には栽培きのこ、造林用の苗木の販売額は含まれません。

○ 木質バイオマス向けに販売した場合は、「その他」に該当します。

		593	(億円)
「1億円以上」の場合は、1億円単位で金額を記入してください。			

【14】過去1年間の林業作業の受託（請負）

林業を行っている方が記入する項目です。

- 過去1年間の林業作業の受託（本木買いによる素材生産を含む。）による料金収入について、該当するもの**1つに必ず記入**してください。
- 過去1年間の林業作業の受託料金収入の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

		601
受託料金収入なし	✓	
林業作業の受託料金収入あり	50万円未満	✓
	50万～100万円未満	✓
	100万～300万円未満	✓
	300万～500万円未満	✓
	500万～1,000万円未満	✓
	1,000万～3,000万円未満	✓
	3,000万～5,000万円未満	✓
	5,000万～1億円未満	✓
1億円以上	✓	

		603	割合(割)
造林・保育の受託	造林・保育の受託	603	
	素材生産の受託	604	
	素材生産（立木買い）	605	

○ 立木を購入して素材等として販売した場合は、「素材等の売却額」と「立木の購入額」の差額を受託料金収入として記入してください。

		602	(億円)
「1億円以上」の場合は、1億円単位で金額を記入してください。			

- 過去1年間によそから受託した（請け負った）林業作業の実面積を記入してください。

		606	(ha)	(a)
			(町)	(反)
植林		606		
下刈りなど		607		
間伐	切捨間伐	608		
	利用間伐	609		
主伐	受託	610		
	立木買い	611		

○ 他に再委託している面積は含まれません。

【3】農業の労働力（経営主を除く。）

農業を行っている方が記入する項目です。

2 経営内部の労働力の詳細（個人経営の方のみ）【続き】

4 ページ「1 農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力(202 及び 203)」に人数を記載した世帯員について、4 ページの記入欄が不足した場合に、8 人目以降を 1 人ずつ以下に記入してください。

※1「従事した日数」には、1 日を 8 時間として計算してください。

(例)1日4時間ずつ → 2日で1日分

※2「方針決定」は、以下をいいます。

- ・生產品目、飼養畜種の選定
- ・規模、出荷先の決定
- ・機械・施設などへの投資、資金調達
- ・農地借入、農作業受託の決定
- ・雇用の決定、管理

【続柄番号】

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 01:配偶者 | 04:父母 | 07:祖父母 |
| 02:子 | 05:配偶者の父母 | 08:孫 |
| 03:子の配偶者 | 06:兄弟姉妹 | 09:孫の配偶者 |
| | | 10:その他 |

218							219				220	
過去1年間で農作業に従事した日数(管理労働を含む。) ※1							過去1年間の主な状況				経営主とともに農作業の方針決定に関わっている ※2	
1	30	60	100	150	200	250 日以上	仕事を主にしていた					
29 日	59 日	99 日	149 日	199 日	249 日	日	主に自営農業を行った	主に農業以外の自営業を行った	主に他に勤務した	主に学生(研修を含む。)であった	主に家事・育児・その他であった	
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												

SAMPLE

経営主との続柄	214		215			216	217
	性別		出生の年月				
	男	女	大正	昭和	平成	年	月
続柄番号を記入							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

